

安心安全、事故ゼロの物流サービスを実現するために 日陸グループの安全対策のご紹介

コロナ禍における「安全大会」

日陸グループでは従来、毎年100名以上の社員が一堂に会して「安全大会」を開催しておりました。発表担当者は、安全への取り組みや過去の事故対策、指差呼称を含む基本作業の実演などを披露。全社員の安全意識の向上を図るための重要なイベントの一つであります。

その後、新型コロナウイルスの影響で一時中止を余儀なくされたものの、『コロナ禍に於ける時代でも安全への取り組み活動は停滞させてはならない』との信念から2021年よりオンライン形式の安全大会を再開しております。

2022.5.28 | 安全大会発表

発表者：大阪物流センター 発表内容：輸出作業における安全への取組

01 スロープ周りの安全確保

カラーコーンや一旦停止の立て看板などを立て、確実なスペースを確保しています。

02 スロープ接触の防止対策

スロープの起点箇所に白線を引いて表しています。白線手前で一旦停止し、安全を確認します。

03 コンテナ上部の接触防止対策

白線手前で一旦停止し、安全を確認、コンテナ上部と高さを確認します。

04 フォークリフトの停車時対策

フォークリフトから下車する際は三点指示で降ります。また、タイヤをサイドガードにあてることにより、サイドブレーキの引き忘れによる事故を防止しています。



発表者：高砂油槽所(高石ケミカル) 発表内容：高所作業についての取組

01 フルハーネス方式

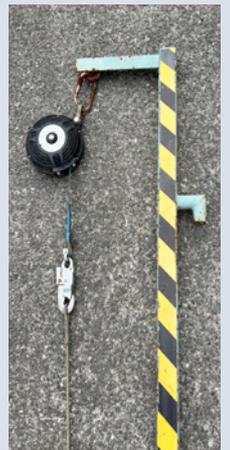
高所作業をより安全に行うためのフルハーネス装備を全社員に支給しております。

02 墜落制止用器具

タンクコンテナ積み場での墜落を防止するため、特殊器具を活用しています。

03 荷卸し場の支柱

墜落制止用器具が使えないため、コンテナを確実に固定できる支柱を導入しました。



事故対策強化月間

日陸グループでは、過去に A 級事故が発生した月に「事故対策強化月間」を設け、事故にまつわる啓発活動を実施しています。本社・各営業所が一丸となり事故事例、原因、対策について思い起こすことで事故の風化を防止するための月間であり、全社員の安全意識のさらなる向上を図っております。

日陸グループの主な「事故対策強化月間」

■ 「転落事故対策強化月間」	実施期間：2022 年 1 月 1 日～1 月 31 日
■ 「酸欠事故対策強化月間」	実施期間：2022 年 2 月 1 日～2 月 28 日
■ 「横転事故対策強化月間」	実施期間：2022 年 5 月 1 日～5 月 31 日
■ 「圧力・被液・荷役機器事故対策強化月間」	実施期間：2021 年 7 月 1 日～7 月 31 日
■ 「誤出荷・誤納入防止強化月間」	実施期間：2021 年 8 月 1 日～8 月 31 日

01

転落事故対策強化月間

2022 年 1 月 1 日～1 月 31 日

転落事故対策 強化月間

墜落制止用器具
着用徹底!



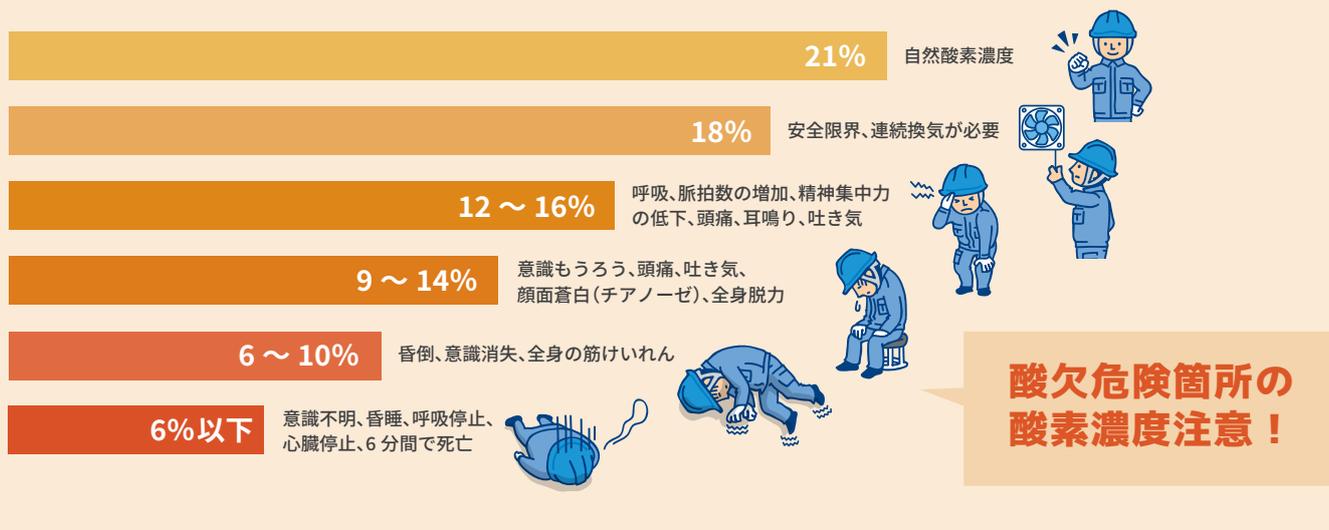
実施期間：2022 年 1 月 1 日～1 月 31 日

転落は重大事故につながる危険性の高い災害の一つです。転落事故を未然に防ぐため、墜落制止用器具の着用徹底を呼びかける月間を設けています。

酸欠事故対策

2022年2月1日～2月28日

強化月間



実施期間：2022年2月1日～2月28日

物流の現場には酸欠危険箇所が数多くあります。安全安心な作業環境を整えるため、危険箇所では常に酸素濃度に気を配り、測定や換気等を徹底することを呼びかけています。

日陸グループにとって一番大切なのは社員の安全です。
全社員が安全を最優先に業務を遂行することこそが、
お客様に対する最高のサービスの実現につながると考えております。
同類事故を二度と起こさない、起こさせないために、
日陸グループは徹底した安全活動に取り組みます。

NRS

株式会社日陸 安全品質管理部

TEL：03-5281-8218

<https://www.nrsgroup.co.jp/>